

No	担当課・係名・連絡先	事業名	対象者 (事業受託者)	事業形態	事業概要	市と市民公益活動団体・ボランティアとの役割分担	平成30年度に実施した際に得られた効果及び課題	提案 した側	協働	公募	ボラ ンテ ィア	H31 当初予算 (千円)	実施時期 (募集時期) (予定)	関 係 機 関
1	企画財政課 企画政策室 047-445-1074	かまがやの花火	かまがやの花火実行委員会	後援	約2,000発の打ち上げ花火を行うもの。また、市内小中学校のPR映像とともに各校が選定した花火を打ち上げ、鎌ヶ谷市への愛着を醸成することを目的に実施する。	市：事業の周知協力、会場費の一部助成 実行委員会：事業の企画・運営・実施	市内外から多くの来場があり、市のPRや活性化に資する大きな行事であるとともに、子どもたちの郷土愛の醸成が図られ、魅力あるまちづくりに寄与された。	団体			○	250	8月11日	一般社団法人鎌ヶ谷青年会議所 株式会社北海道日本ハムファイターズ 鎌ヶ谷市商工会 鎌ヶ谷市商工会青年部
2	企画財政課 企画政策室 047-445-1075	新鎌ヶ谷地区イルミネーション点灯式	実行委員会	実行委員会・共催	新鎌ヶ谷駅前のイルミネーション点灯式、感謝の手紙表彰式及びワークショップ等を実施するもの。	市：事業の企画・運営・実施、負担金の支出 団体：事業の協働実施	ワークショップの実施や点灯式への市民参加の増により多くの来場者があり、駅前空間の創出が図られた。	市	○		○	150	11月17日 (点灯期間は3月15日まで)	アクロスモール新鎌ヶ谷
3	企画財政課 企画政策室 047-445-1073	通訳ボランティアの活用、育成等	鎌ヶ谷市多文化共生推進連絡協議会	事業協力	ボランティア養成講座の実施、通訳ボランティアの派遣等にあたり連携を図る。	市：事業の企画・運営・実施 団体：講師紹介、通訳ボランティアの派遣等	自主事業及びボランティア養成講座を実施したことにより、多文化共生推進センターの認知度の向上を図った。	市	○		○	1,012	通年	
4	企画財政課 企画政策室 047-445-1074	多文化共生推進にあたっての連携	鎌ヶ谷市多文化共生推進連絡協議会	補助	日本語講座や外国語講座等、多文化共生に係る事業を実施する。	市：事業の補助、周知協力 団体：事業の企画・運営・実施	外国人住民や日本人の多文化共生推進に資する事業を実施し、市民全体の意識醸成を図った。	団体			○	1,500	通年	
5	環境課 環境計画係 047-445-1227	かまがや環境パネル展2019	環境関係団体等	その他 (行政が提案し、参加 団体を募 る)	環境保全活動を行っている団体や事業者等による活動発表や環境保全啓発をパネル展示によって行う。	市：主催 団体：事業実施	延べ11の団体・事業者等の出展があり、市庁舎に訪れた方々に対し、各々の活動等について周知及び環境保全の啓発を行うことができた。	市			○	0	6月18日 ～6月27日	
6	環境課 環境計画係 047-445-1227	キャンドルナイトinかまがや	鎌ヶ谷駅前ふさとづくり推進協議会	後援	東武鎌ヶ谷駅東口駅前広場において、キャンドルを灯し静かな夜を過ごすイベントを通して、広く市民に地球温暖化防止に対する意識向上を図ることを目的とする。	市：参加 団体等：事業実施	鎌ヶ谷駅前自治会、東武鎌ヶ谷駅前商店街振興組合、NPO法人KAOの会、千葉県立鎌ヶ谷高等学校、千葉県立鎌ヶ谷西高等学校、市民、鎌ヶ谷市などと、多様な主体の参画により地球温暖化防止について考える機会となった。	団体				0	6月21日	
7	環境課 環境計画係 047-445-1227	第11回かまがや環境フェア	環境関係団体等	その他 (行政が提案し、参加 団体を募 る)	市民・事業者・市が協働でパネル展示、ワークショップなど各イベントを開催する。	市：主催 団体：事業実施	環境保全団体、企業、市民、千葉県立鎌ヶ谷高等学校、千葉県立鎌ヶ谷西高等学校、千葉大学等の多様な主体との協働によりワークショップやパネル展示、クイズラリー等のイベントを実施し、延べ1282人の来場者となった。	市	○		○	50	10月12日 (鎌ヶ谷市民まつりと同日開催)	
8	商工振興課 商工振興係 047-445-1240	カプトムシプロジェクト プリーダ制度	カプトムシプリーダ	その他 (事業協 力に近いが、協 定書等の取 り交わし無 し)	北海道日本ハムファイターズ・市内梨農園・市の協働で推進しているカプトムシプロジェクトにて活用するカプトムシについて、育成の担い手となるプリーダを一般公募により募集する。	市：カプトムシの提供、育て方等のレクチャー ボランティア：カプトムシの育成、生まれた幼虫を市へ提供	効果：市とプリーダ間でカプトムシ提供のサイクルが生まれ、カプトムシの安定的な確保につながっている。	市	○	○	○	38	募集 3月15日 ～3月18日 配布 4月1日～	
9	社会福祉課 社会福祉係 047-445-1286	学習支援事業	特定非営利活動法人ワークスコープ浦安地域福祉事業所	委託	生活保護受給世帯・生活困窮世帯の子どもを対象に、学習支援や日常生活に関する相談など、安心して過ごすことのできる居場所を提供する。	市：事業経費の支出 NPO：事業実施	学習支援及びレクリエーションの実績として、活動日49日、参加生徒児童数57名、延べ943名だった。	市			○	3,029	通年	
10	社会福祉課 社会福祉係 047-445-1286	就労準備支援事業	特定非営利活動法人ワークスコープ浦安地域福祉事業所	委託	直ちに一般就労への移行が困難な生活困窮者に対して、一般就労に必要な知識及び能力の向上を図り、就労自立の支援をする。	市：事業経費の支出 NPO：事業実施	全6回の講座形式を2クール。参加者数は前期：4名、後期：7名、延べ31名。参加者のうち、就職をした方2名、他機関を紹介した方3名。今後も事業の周知を継続する。	市			○	600	通年	
11	社会福祉課 社会福祉係 047-445-1286	健康福祉情報サービス事業委託	NPO法人かまがや地域情報の窓	委託	地域で安心して暮らしていくため、地域福祉に関する情報や健康福祉に関する統合サイトの構築、及び誰もが見たくなる情報を発信し、市民団体によるサイトの運営管理を委託する。	市：健康福祉に関する情報の提供 団体：健康福祉に関するサイトの更新	市民の視点に立った健康福祉情報の発信ができた。	市			○	376	通年	
12	社会福祉課 社会福祉係 047-445-1286	社会を明るくする運動	社会を明るくする運動鎌ヶ谷市推進委員会	実行委員会 ・共催 (19団体)	社会を明るくする運動は、犯罪や非行の防止、罪を犯した人や非行をした少年達の更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする、法務省主催の全国的な運動である。この運動について市民の理解を深めるため、中学生の作文コンクール、車両パレード、街頭キャンペーン、映画の集い、小学校吹奏楽の演奏、ポスターの掲示などを行っている。	市：事務局として、会場の確保や啓発物資の購入、文書の発送等を担当 団体：車両パレード、街頭キャンペーン、ポスターの掲示などの行事啓発に係るものは、鎌ヶ谷地区保護司会を中心とした推進委員が担当	鎌ヶ谷地区保護司会をはじめとする各団体と協働して企画運営することで、本運動の盛り上がりが見られ、参加団体同士の連携が深まった。	団体	○			135	7月 第2火曜日	鎌ヶ谷地区保護司会 鎌ヶ谷警察署 鎌ヶ谷市社会福祉協議会 鎌ヶ谷市自治会連合協議会 鎌ヶ谷市更生保護女性会 他
13	社会福祉課 社会福祉係 047-445-1286	かまがや福祉健康フェア	鎌ヶ谷市福祉健康フェア実行委員会	実行委員会 ・共催 (19団体)	鎌ヶ谷市及び福祉健康関係団体の活動を広く市民に紹介し、市民の福祉や健康増進に対する意識向上を図るため、各団体の活動内容や活動成果の発表の場としてフェアを開催している。	市：事務局として、会場の確保、会議の資料作成、文書の発送等 団体：フェア参加団体から募った実行委員会を中心に、企画、広報などを担当	当事者・ボランティア・行政が協働して企画運営することで、積極的な参加やフェアの盛り上がりが見られ、また参加団体同士の連携が深まった。若年層に来てもらうための方策や、来訪者が足を運びやすい飲食ブースの確保が課題。	両者	○			100	10月 第3日曜日	鎌ヶ谷市社会福祉協議会
14	社会福祉課 社会福祉係 047-445-1286	鎌ヶ谷地区更生保護サポートセンター	鎌ヶ谷地区保護司会	公共施設等の提供	保護司と保護司会が地域の関係機関・団体と連携しながら、地域で更正保護活動を行うための拠点として、経験豊富な「企画調整保護司」が常駐して、保護司の処遇活動に対する支援や関係機関との連携による地域ネットワークの構築等、多様な活動を行う。鎌ヶ谷地区更生保護サポートセンターは、平成31年2月に開所した。	市：場所の提供 団体：保護司の常駐	平成31年2月1日付けの開所だったため、30年度は設備と体制の整備が中心となり、実質的な運営には至らなかった。	団体	○			0	通年	
15	高齢者支援課 高齢者福祉係 047-445-1375	軽度生活支援事業	NPO法人鎌ヶ谷たすけあいの会	委託	日常生活に支障のある高齢者世帯の庭木の手入れ、軽微な修繕、家屋の整理等の生活援助を行う。	市：支援に対する決定を市で行う。 団体：サービスの実施を行う。	効果：NPO法人に事業を委託することでより効果的な生活援助を行うことができた。 課題：なし	市	○			11	通年	
16	高齢者支援課 地域包括支援係 047-445-1384	談話室事業	談話室推進委員会 (14か所)	補助	日常生活は概ね自立しているが、何らかの要因で外出の機会が少なく、家に閉じこもりがちなる方に対して社会参加の場を提供する。	市：費用の助成をする。 団体：閉じこもり防止を担う。	効果：各地域の繋がりをより強化することができた。 課題：運営者の後継者不足	市	○			750	通年	
17	健康増進課成人保健係 047-445-1405	ヘルシーパートナーズ事業	認定NPO法人健康都市活動支援機構	事業協力	かまがや福祉健康フェア・ヘルスサポーター中学生養成講座、ウォーキング講座、サンドイッチ教室において、健康づくりボランティア・食生活改善推進員と協働で事業を実施する。	市：事業の企画・運営・実施 団体：事業の協働実施、講師の派遣、料理教室への食材の提供、参加市民へのタオル・布巾の提供、ボランティア共通グッズの提供、協力企業との調整	複数の団体で協働し、団体同士の連携ができるよう実施することができ、新たな取組になった。企業のノウハウを活用することができ、ボランティア活動の活性化や継続のために有意義であった。	両者	○		○	0	通年	

No	担当課・係名・連絡先	事業名	対象者 (事業受託者)	事業形態	事業概要	市と市民公益活動団体・ボランティアとの役割分担	平成30年度に実施した際に得られた効果及び課題	提案 した側	協働	公募	ボラ ン ティア	H31 当初予算 (千円)	実施時期 (募集時期) (予定)	関 係 機 関
18	健康増進課成人保健係 047-445-1405	健康づくりボランティア事業	健康づくりボランティア ・きらり鎌ヶ谷体操指導員 ・パタカラス ・鎌ヶ谷レインボーズ ・きらり元気づくりサポーター	協働	「みんなと笑顔でつながる健康づくり」をキャッチフレーズに健康づくりを普及する。	市：事業の調整・実施協力・会場確保等 団体：事業実施	各事業において、健康づくりボランティアと協働し、13,238人の市民に健康づくりの普及ができた。	市	○	○	○	81	通年	
19	健康増進課成人保健係 047-445-1546	食生活改善事業	鎌ヶ谷市食生活改善協議会	事業協力 ・共催	市民へ食を通じた健康づくりの普及啓発をする。	市：事務局 団体：事業実施	各種事業において食生活改善協議会と連携を図ったことにより、食生活改善や食育を推進することができた。	両者	○	○	○	518	通年	
20	健康増進課 母子保健係 047-445-1393	ブックスタート事業	ブックスタートボランティア	共催	絵本を通して親子で触れ合うひとときを持てるよう、4か月児健康相談において、わらべうたと絵本の読み聞かせ後、絵本を手渡し、子育てを応援する。	市：事務局 団体：事業実施	4か月児の98.3%の親子に絵本の読み聞かせを行い、絵本を手渡すことができた。	両者	○	○	○	1,105	通年	
21	都市計画課 まちづくり室 047-445-1433	クリスマスイベントの実施	鎌ヶ谷駅前ふるさとづくり推進協議会	後援	クリスマスや年末の人々が多く集まる機会を捉え、東武鎌ヶ谷駅東口駅前広場内において、市が行うシンボルツリー等へのイルミネーションの設置に合わせ、地元の協議会が主催し市が後援するクリスマスイベント（各種音楽祭や日本ハム選手のサイン会等）を実施する。	市：イルミネーションの設置とクリスマスイベントの後援 団体：クリスマスイベントの実施	効果：地域住民のコミュニティ形成及び地域活性化に寄与した。 課題：イルミネーションの設置については、より地域満足度を高めるための検討が必要。	両者	○			1,200	11～12月	
22	道路河川管理課 管理係 047-445-1453	道路愛護活動	・山桃の木会 ・新山町会 ・北初富第一自治会 ・鎌ヶ谷にぎ愛広場 ・華の路 ・新山町会第4支部 ・邑の会 ・鎌ヶ谷駅前第一笑話会 ・鎌ヶ谷駅前第三笑話会 ・宿第二自治会 花壇を愛する会 ・あつふるはいん ・鎌ヶ谷Jump upの会 ・駅前まちづくり協力隊 ・福祉作業所友和園 ・NPO法人きらら ・鎌ヶ谷駅前自治会第四支部美化袋隊 ・船橋西二和グリーンハイツ園芸部 ・四季花壇 ・五本松西花の会 ・鎌ヶ谷スマートエイジング	公共施設等の提供	市民にとって身近な公共空間である道路の美化を促進するため、市が管理する道路において、市民団体等が行う草花の植栽による道路愛護活動を支援する。 道路愛護活動を実施する団体に報償金を交付する。					○		通年		
23	公園緑地課 みどり推進係 047-445-1487	緑化推進事業（花いっぱい活動）	ふるさとづくり連絡会	事業協力	公共施設等に四季の花々を植え、市民の目を楽しませ心豊かに暮らせるよう「花いっぱい活動」を実施する。	市：花の種苗用品の購入 団体：種から花苗を育てて、公共施設等に花植え	東武鎌ヶ谷駅東口ロータリー花壇に花植え作業を実施	団体	○		○	—	通年	
24	公園緑地課 公園維持係 047-445-1489	鎌ヶ谷市公園等サポーター制度	公園サポーター	事業協力	都市公園等を対象とし、一般市民から募集した公園サポーターにより清掃等の維持管理を行う。	市：清掃等維持管理する場所の提供、公園サポーターからの通報による公園施設等の補修。 団体：公園内の清掃等維持管理。	効果：公園内の除草、清掃、マナー指導による公園利用環境の向上。 サポーターからの定期報告による公園利用状況、施設状態の把握。 課題：高齢化による活動辞退。	市	○	○		1,088	通年	
25	生涯学習推進課 青少年係 047-498-6101	成人式記念事業	成人式実行委員会	実行委員会 ・共催	成人に達した青年の門出を祝うとともに、“当事者の意向を生かした記念日”とするため、毎年実行委員会を設置し、独自の記念事業を企画運営する。	市：会場の確保。アドバイス 団体：事業実施	・新成人の中から実行委員を選出し、企画や広報活動を行うため、当日出席する新成人の式への親近感・出席意欲が向上した。 ・平成31年成人式の出席率は約70%の水準で推移した。 ・ツイッター開設や人文字の集合写真で「平成」の文字を作るなど、オリジナリティーある成人式となった。 ・成人式の出席率のさらなる向上 ・成人式の協力団体の拡大	市	○	○		1,625	1月12日	
26	生涯学習推進課 青少年係 047-498-6101	元気っ子ゼミナール	鎌ヶ谷市子ども育成会連絡協議会 及びリーダーズクラブ	実行委員会 ・共催	・対象：小学校4～6年生（30年度は60名参加） ・活動状況：年7回実施（内1回は宿泊を予定） ・内容：青少年の健全な育成に資するため、参加児童の自主性を重視しつつ、主に野外体験活動を実施。	市：バスの提供及び広報部門等を担当している。 団体：参加者の指導 ※事業内容については、両者で協議して決定。	・年7回の内容をジュニアリーダーが中心となり企画運営したことで、個々に大きな成長を感じる事ができた。 ・当事業に参加した研修生7名がリーダーズクラブに入学し、将来の市の青少年育成に関わる人材の確保に繋がった。 ・共催の鎌ヶ谷市子ども育成会連絡協議会の役員の人材養成・確保が今後の課題。	両者	○			689	5月～12月	
27	生涯学習推進課青少年係 047-498-6101	北海道ファームステイ事業	土幌町交流事業実行委員会	実行委員会 ・共催	ホームステイや広大な大地の中での農業体験等、鎌ヶ谷市では成し難い体験を通じて、次世代を担う青少年の「生きる力」を育み、併せて今一度自分達の住む町を見つめ直す事によりふるさと意識の醸成を図る。	市：事務局 団体：企画・実施		市	○			215	7月19日 ～22日	
28	生涯学習推進課 生涯学習推進センター 047-446-1111	まなびいプラザパソコン講座	まなびいパソコン普及会（MPF）	共催	平成13年度に実施したIT講習会の講師及び市内PC愛好者・元専門学校講師などによって構成されるボランティア団体「まなびいパソコン普及会」（MPF）との共催により、市民による市民のためのパソコン講座を実施している。	市：講座の実施決定、会場の提供、市広報等による募集、問合せの対応、受講者の決定 団体：講座内容の企画及び実施（講師を含む）	共催事業として16回パソコン講座を実施することが出来た。元年度も引き続きメニューを工夫しながら開催していくこととしたい。	両者	○				通年 (不定期)	
29	生涯学習推進課 企画調整係 047-446-2112	笑顔いっぱいシルバー元気ゼミ	笑顔いっぱいシルバー元気会	事業協力	高齢者が元気で生きがいのある生活をおくるため、健康体操を通じて健康寿命の延伸を図る。	市：講師との連絡調整、会場の提供、保険手続き等の事務、データ集計等 団体：事業実施	全体的に参加者の体力向上及び居場所づくり、仲間づくりにつながっている。 今後は、サポーターの養成にも取り組んでいきたい。	団体	○			0	毎週月曜日 (第5週、祝祭日、8月を除く)	

No	担当課・係名・連絡先	事業名	対象者 (事業受託者)	事業形態	事業概要	市と市民公益活動団体・ボランティアとの役割分担	平成30年度に実施した際に得られた効果及び課題	提案 した側	協働	公募	ボラ ンテ ィア	H31 当初予算 (千円)	実施時期 (募集時期) (予定)	関 係 機 関
30	図書館 047-443-4946	子ども劇場	子ども劇場	事業協力	児童を対象に定期的に人形劇、朗読等を行う。	市：広報等で参加者の募集を呼びかけ、活動場所を提供する。 団体：事業実施（ボランティア）	様々な視点での事業を行うことができた。今後とも協力いただきたい。	両者	○			0	年7回	
31	図書館 047-443-4946	小学生向けおはなし会	おはなしのつばさ	事業協力	小学生を対象に定期的におはなし・絵本の読み聞かせ・紙芝居・パネルシアター等を行う。	市：広報等で参加者の募集を呼びかけ、活動場所を提供する。 団体：事業実施（ボランティア）	様々な視点でのおはなし会を行うことができた。今後とも協力いただきたい。	団体	○			0	毎月1回 第2土曜日	
32	文化・スポーツ課文化係 047-445-1528	鎌ヶ谷市市民文化祭	鎌ヶ谷市市民文化祭実行委員会	実行委員会 ・ 共催	市民の日頃の芸術文化活動の成果を発表する機会として、毎年10月・11月にさきり鎌ヶ谷市民会館を主会場に、発表・展示・参加部門の3部門により実施する。実行委員会を組織し、企画立案から実施まで市民参加で行う。	市：事務局・会場確保・広報・運営補助 団体：企画・実施	各部門で一般参加の募集をし、個人や団体の一般参加があった。一部の部門を除いて、若い世代の参加が少ないことが課題となっている。	市	○			300	10月・11月	
33	文化・スポーツ課文化係 047-445-1528	鎌ヶ谷市美術展覧会	鎌ヶ谷市美術展覧会実行委員会	実行委員会 ・ 共催	市民の美術作品を広く紹介するため、3月初旬～中旬にかけて、さきり鎌ヶ谷市民会館を会場に開催する。鎌ヶ谷市美術家協会を中心に実行委員を構成し、企画立案から運営までを取り仕切っている。	市：会場確保・広報・運営補助 団体：企画・実施	一般公募により、市民に美術作品の発表機会を提供することができた。	団体	○			80	3月	
34	文化・スポーツ課文化係 047-445-1528	文化講演会	鎌ヶ谷市芸術文化協会	芸術文化協会 ・ 共催	文化・芸能の各分野における第一人者の講演を聴く機会を広く市民に提供する。	市：会場確保・広報・運営補助 団体：企画・実施	講演の内容によって、興味や関心に落差が出てしまうことが課題である。	団体	○			0	12月7日	
35	文化・スポーツ課文化係 047-445-1528	国史跡下総小金中野牧跡周知普及事業	国史跡下総小金中野牧跡周知普及実行委員会	実行委員会 ・ 共催	国指定史跡「下総小金中野牧跡」を活用した馬事文化関連イベントを実施する。	市：事務局・会場確保・広報・運営補助 団体：企画・実施	市内の高校や小学校での展示のほかに、JRA競馬学校模擬レースへの出展や、市民創作ミュージカルでの展示を実施し、国史跡下総小金中野牧跡の周知を行うことができた。周知普及事業の効果により、「とっこめ」の名称も徐々に浸透してきている。	両者	○			2,000	4月～2月	
36	文化・スポーツ課スポーツ係 047-445-1531	鎌ヶ谷新春マラソン大会	鎌ヶ谷新春マラソン大会実行委員会	実行委員会 ・ 共催	本市を代表するスポーツイベントの新春マラソン大会は、参加者相互の健康増進と体力向上を図るとともに、ふれあいのある大会を目指す。	市：事務局・会場確保・広報・運営 団体：企画・運営	一般の公募により多数のボランティアに参加いただいたが、主催者側とボランティアとの間で意識の差があるため、運営に支障をきたす場面もあった。ボランティアといえども責任感をもって臨んでもらうよう注意喚起が必要である。	両者	○	○		1,200	1月19日	
37	文化スポーツ課 郷土資料館 047-445-1030	郷土資料館ボランティア制度	郷土資料館ボランティア	事業協力	郷土資料館主催の講座や、市内小中学校からの講師派遣や郷土資料館の団体見学等を行う際に、学芸員を補助する。このほか、郷土資料館常設展示や市内文化財のガイドも実施する。	郷土資料館は各種講座などボランティアの学びの場を提供する。ボランティアはこれに補助として優先的に参加することで、市内の歴史・民俗に対する理解を深め、この知識をもって常設展示のガイドを行う。	常設展示のガイドは平成30年度、94回行い、合わせて452人の参加者を得た。市内文化財のガイドについては、実施できるボランティアが限られているため、文化財ガイドボランティアの養成が今後の課題。	市			○	42千円	通年	
38	消防総務課 047-444-3233	鎌ヶ谷ファイアーフレンズ (市民協働消防音楽隊)	鎌ヶ谷ファイアーフレンズ	事業協力	市内の催し物等に参加し、演奏を通して火災予防を呼びかけている。	市：広報等で参加者の募集を呼びかけ、活動場所を提供し、他団体からの出演依頼の調整等を実施。(事務局) 団体：週1回程度の練習、出演時の演奏。	効果：市民の火災予防意識の向上と消防活動への理解が深まった。 課題：運営の中心となる職員の音楽隊員数が少なく、増員も見込めないことから、円滑な運営が難しくなっている。	市	○	○		327	随時	